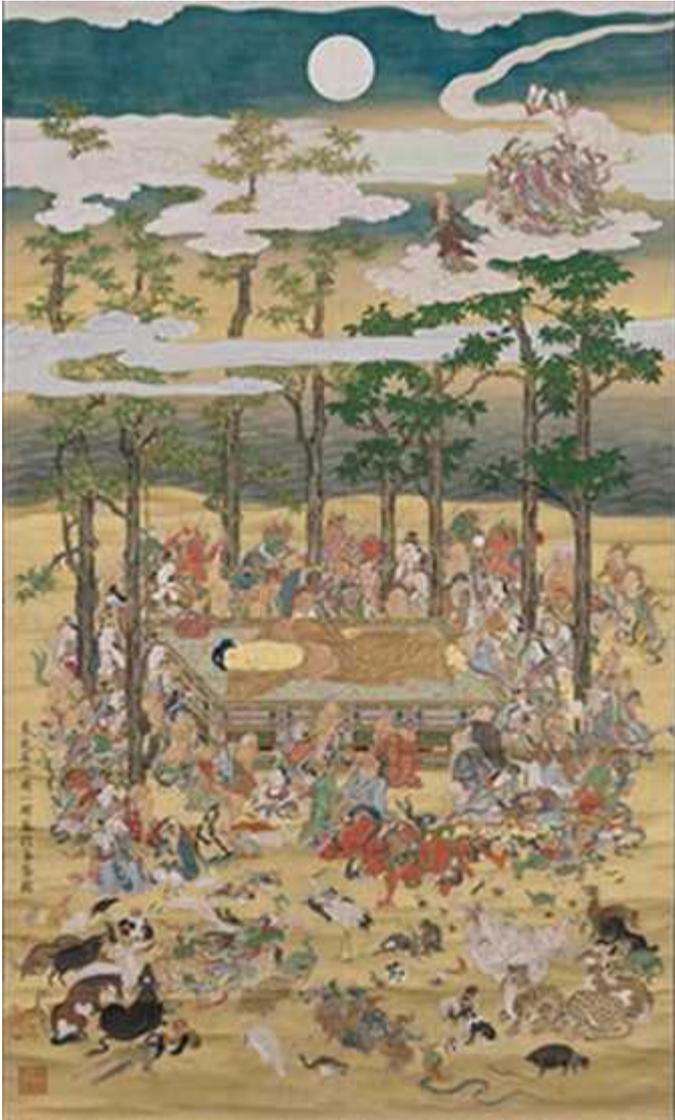


# 西要寺だより

第87号 平成30年3月9日



前号に引き続いて、お釈迦さまが亡くなられた模様を描いた仏涅槃図のお話をいたします。お釈迦さまが亡くなられたのは、2月15日ということでこの時期にこのような話をしています。

先日、アメリカのボストン美術展が神戸の博物館で開催されていました。そこに巨大な仏涅槃図が出展されていました。アメリカの美術館展にお釈迦さまの涅槃図があるの？って思われたことでしょうか。実は描いたのは日本人で約170年ぶりの日本への里帰りらしいです。1713年（正徳3年）に英一蝶（はなぶさいっちょう）という人が描きました。高さは286.8cmで、横は168.5cmということですから大きいですね。日本にあったら国宝になっていたといわれるような作品で、い

わゆる‘幻の国宝’と言われているようです。どのようなものですか、気になりますか。それは上↑です。

前号に掲載したものほとんど変わりはないですね。しかしながら、本当は微妙に違うのですよ。

前号の続きの話ですが、図の下の方にはさまざまな動物が描かれています。前号において猫は描かれることが少ないという話をしましたが、上の涅槃図には猫が描かれているのです。非常に珍しいと言えます。

それでは、仏涅槃図にさまざまな動物が集まってきたのは、動物にもお釈

迦さまの説法を理解できたのか？ それともお釈迦さまの偉大さに気づいて集まってきたのか？ という疑問が出ます。

お釈迦さまの周囲に描かれた弟子や、見守る人たちとともに、図の下の方には十二支をはじめとするさまざまな動物が描かれています。これは、もちろん動物たちもお釈迦さまの死を悲しんでいる、



という意味で、人だけでなく、生きとし生けるものすべてに慈悲の心を持ったお釈迦さまの徳を表しています。

ちなみに、京都の東福寺の涅槃図は50種類以上の動物が描かれているのだとか……。ただし、猫が描かれた涅槃図は非常に少ないらしい。というのは、お釈迦さまがお亡くなりになる時に、天からお釈迦さまの実母、摩耶（まや）夫人がお釈迦さまのもとに駆けつけ、そして薬の入った袋をお釈迦さまに投げたが沙羅の樹の枝に掛かってしまいました（「投薬」のいわれは、これです）。お釈迦さまのために薬の入った袋を取りにいったネズミを、猫が捕獲してしまいました。そういうこともあって、猫が仏涅槃図に描かれなくなったという伝承が有力です。

また、燕も描かれていないことが多いようです。お釈迦さまが亡くなったとき、雀は急いで駆けつけたのですが、燕は化粧に時間をかけすぎて、着いたら葬儀も終わっていたということ。いろいろと面白い話が伝わっています。

## ●あなたの葬儀をどうされますか？

### 子どもさんと話されたことがありますか？

お釈迦さまの涅槃図の後は、ご自分のことです。



《最近、ご家族を見送られた人へ》

お葬儀は、家族葬でされましたか？

家族葬ですということについて、故人と話をされてましたか？

家族葬で行ったことを後悔されてますか？

《ご自分の葬儀について》

葬儀の具体的な内容（場所や形態など）をご自分で考えておられますか？

ご自分で考えた葬儀の具体的な内容について、子どもさんや、ご主人または奥さんと話し合われましたか？

やはり子どもの方から親の葬儀の話はしづらいです。また、親の方から葬儀の話をして、子どもさんの方から、何言ってんのよー、まだまだ先の話でしょう、って言われかねません。しかしながら、諸行無常ですので、いつどうなるかわからないのが私たちの命です。きっちりと話をされることが大切です。あらかじめ考えておかないと急な場合には慌ててしまって、葬儀社の言われるままに行ってしまうと、後悔するケースもあります。わからないことがあれば、西要寺まで聞いていただきたく存じます。



通夜の席  
いつのまにやら  
同窓会

僧侶側からの経験から申しますと、家族葬をされる、近所の人や故人とつながりのあった人にも誰にも言わないで欲しい、と言われ、その通りに誰にも言わなかったら、故人と関係のあった人からやっぱり言って欲しかった、と言われます。家族葬で行うということも含めて言って欲しかった、と。その点をご了解頂きたく存じます。

また、葬儀というのは、故人を偲んで有縁の人びとに来ていただく、というのが自然ですので、僧侶側から言うと、家族葬は不自然であり、やめて欲しいのですが……。いずれにしても、葬儀のことは、事前にご家族とお話をされることをお勧めします。また、疑問点などがあれば、西要寺まで言ってください。最後に西要寺会館も是非、お使いください。

## ●「歎異抄講座」

私、副住職が研究員を勤めております京都の西本願寺の総合研究所では、昨年「歎異抄（たんにしょう）講座」を行っています。



おかげさまで受講者が多くて200人以上の申し込みで、毎回160人ぐらいの方が受講されます。場所は、西本願寺の北側にある聞法会館で行っております。

研究員が順番で講師をつとめておりまして、私は4月28日に当たっております。4月からは年度が替わるということで、再度、受講生を募集することになりますので、是非、ご参加ください。ちなみに受講料は0円です。「歎異抄」とは、親鸞聖人のお弟子が書いた書物と言われ、親鸞聖人のご法語（説かれた教え）が書かれています。資料とか全部、研究所の方でご用意します。興味のある方は、西要寺までお問い合わせください。

## ●ヨガ教室

しばらくお休みしておりましたヨガ教室を再開いたします。実はヨガの先生が子どもさんを産まれまして、その間、お休みしておりましたが、3月から再開いたします。

もうこの年なのでヨガなんて出来ないわ、って言われる方がおられますが、ヨガとは無理して体を動かすのではありませんので、ご心配なく。以前は椅子を使ってやっておりましたので、今回も同様に椅子を使ってやることになると思います。気軽にご参加ください。今回は「広報誌ぱど」に広告を出します（予定）。西要寺とご縁のない方でも参加していただけますので、お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。参加費は一人500円です。



### ◎今後の西要寺行事予定◎

#### 【定例法座】

3月22日(木)午後2時より 4時半頃(予定)まで

講師:西要寺副住職

場所:西要寺会館(椅子席)

●お彼岸ですので、お参りください。

#### 【定例法座】

4月21日(土)午後2時より 4時半頃(予定)まで

講師:小池 秀章師

(元京都女子高校教諭 龍谷大学非常勤講師)

場所:西要寺本堂(椅子席)

●4月は、21日に行いますので、ご注意ください。

#### ●ヨガ教室を再開します。

日時:3月22日(木)午後4時すぎから(30分ぐらい)

参加費:一人500円

場所:西要寺会館

●皆さまのご参加をお待ちしてます。